

## 地域おこし協力隊交流会(平成 28 年度)

### 1. 趣旨

地域おこし協力隊の地域間の交流、情報交換、ネットワークづくり及び、市町村担当者の情報交換の機会の提供

### 2. 日時・場所

平成 28 年 8 月 30 日(火)～31 日(水) 信州 INA セミナーハウス(伊那市美篤 9620)

### 3. 対象及び参加者数

参加対象:地域おこし協力隊、専任の集落支援員、協力隊を導入している市町村の担当職員  
参加人数: 47名(20市町村) ※うち市町村担当職員 1名

### 4. 内容

【1日目:8月30日(火)10:00～】

① 県内の地域おこし協力隊の取組状況について

② 講義「地域おこしの定義と5段階のステップ」

「地域おこし協力隊あるある失敗例と地域おこし協力隊として重要な考え方」

●講師:特定非営利活動法人 十日町市地域おこし実行委員会 多田朋孔 事務局長

③ グループワーク

～課題や自分を取り巻く関係者との状況を共有し、地域に根差した活動と自己実現を両立するイメージを描く～

④ 懇親会

【2日目:8月31日(火)9:00～12:00】

フィールドワーク

(伊那市、箕輪町、飯島町、中川村の3年目隊員のフィールドの見学・意見交換)

(当日の様子)



### 5. 参加者からの感想・意見(参加者アンケートより)

- 講師の「地域おこしの5つのステップ」が十分に理解できた。自分自身に置き換えて考え、実行してみようと思った。
- 昨年参加した時よりも様々な事を経験したので、今年参加して自分の意見も言えるようになった。テーマやワークショップの内容が良かった。
- 1年目の隊員が何を思い考えているか、2年前の自分と重ねることができた。2,3年目の隊員は交流会に出てくる機会が無くなってきているが、交流会に参加することは大切だと改めて気づいた。
- ソロで活動してきた隊員には必要なお話だった。
- 2年目、3年目の起業目標の隊員の友人ができてよかった。
- 方向性や地域の人との関係を再確認することで、自分と地域との関係がどのような状態であるか再認識できた。